

明専スクール オンラインで進化

明専スクール 副校長 植木 幹（電H1）



入社したときのことを覚えていま
すか。入社前、希望や期待も大きか
ったと思いますが「やっていけるん
だろうか」という不安もあったと思
います。そんな不安を吹き飛ばし、自
信を持って入社して欲しい、そして
入社後は、スタートダッシュして「さ
すが九州工大出身者は優秀！」と
思ってもらえるようになって欲しい
という思いで、明専会の先輩が卒業
前の学生をサポートするのが明専ス
クールです。

● 対面からオンラインへ

明専スクールは、2011年から
毎年、1泊を含む3日間開催してい

表1 明専スクールの変遷

年度	2011～2019	2020	2021～2022
形式	対面	中止	オンライン
日数	3日間 1日+1泊2日		1.5日間 半日×3回

ましたが、2020年は、新型コロナ
ウイルスのため開催を断念せざる
を得ませんでした。明専スクールは、
母校支援の大きな柱と私は考えてお
り、この活動を途絶えさせてはなら
ないと再開の道を探りました。大学
の先生方、明専会メンバーからなる
明専スクール企画会議の皆さんのご
協力により、2021年にオンライン
で再開することができました。
2019年までは、対面形式にて

同窓ならではの「厳しい中にも愛情
を持った密な指導」をしてきました
ので、本当にオンラインで実施でき
るのかとても不安でしたが、明専ス
クール企画会議の皆さんの提案によ
り、Zoom、Google スライド、Google
スプレッドシート、Stack など複数
のITツールを用いて、対面るとき
と同じカリキュラムを実施すること
ができました。

● オンラインでの進化

2022年は、オンラインのデメ
リットを補完しメリットを活かす策
を導入し、進化させました。

【施策1】 プレ明専スクール

明専スクール開講前にオンライン
でプレミーティングを準備しました。
これにより、緊張をほぐして、かつ
モチベーションを高めた上で参加し、
受講効果を高めました。

【施策2】 メンター導入

例年、指導スタッフは企業入社5
年以上のメンバーとしていましたが、
入社1年～4年のメンバーに参加し
てもらい、メンターとしてフォロー
してもらいました。年齢が近く、気
軽に質問などできたと思います。

【施策3】 進捗管理表の共有

オンラインでは、他の班の進捗が
分からず、指導しづらい場合があり
ましたので、進捗管理表を作成し、
指導スタッフ間で共有しました。ま
た、受講生は班内で進捗管理表、議
事録を共有してもらいました。入社
後にスケジュール管理や議事録作成
する際の体験になったと思います。



図1 オンラインでの一場面

表2 講義

非同期型 (録画)	明専～九州工大 建学の歴史	西尾一政様 (加47) 九州工業大学名誉教授
	海外事業を含めた 企業活動事例	吉田誠治様 (制56) レゴランドジャパン(前トヨタ九州)
	企業における知的財産	石橋一郎様 (制56) 安川電機
同期型	企業とは	浅辺公彦様 (情知H04) 野村総研

●講義内容

【施策4】 フィードバック
良かった点、改善要望点をフィードバックし、その後の活動につなげてもらいました。複数の指導者の声をとりまとめて、フィードバックできるのは、オンラインならではです。

明専スクールは、非同期型講義と同期型講義があり、それらの講義を受けてグループ討議を行います。

非同期型講義では、特に重要と感じた要旨をまとめることで履修確認としていますが、講義の狙い、講師の意を的確にまとめており、さすが、選抜された明専スクール生だと感じました。

グループ討議の課題は「イノベーションを通して企業理念の実現に貢献した事例を調査し、入社後に技術に堪能なる土君子としてどう行動していくか、グループで討議し報告すること」です。

この課題には、インターネットで調べても答えが出ない課題に対して当事者として、チーム活動に参加し、具体的解決策を見いだすことを学生時代に体験し、社会人になってから、企業理念の実現に向けて主体的に貢献できる人材となつてほしいという願いを込めています。

各班苦労しながらも、学業やバイトの合間の時間を調整してZoom会議を行い、資料をまとめ、立派に報告してくれました。

●オンライン懇親会

初日と最終日には、オンライン懇親会を開催しました。デリバリーサービスでの料理、飲み物を楽しみながら、普段という生活をしているかなどの話題で、受講生と卒業生で交流しました。交流の深さは対面にはかないませんが、九州工大とい



図2 オンライン懇親会

うつながりで、すぐに打ち解け、会話が弾みました。

●最後に

同窓の先輩後輩と共に明専スクールを通して、母校支援を行うことができるということは、他では経験できない喜びと充実感があります。これから環境変化に負けない進化をしていきます。

多忙な中、協力して下さった講師、指導スタッフ、大学、明専会の皆様に感謝申し上げます。

明専スクールの内容、受講生、指導者の明専会報への寄稿は明専会ホームページに掲載していますので、左記URL、QRコードからアクセスしてご覧ください。

<https://www.meisenkai.or.jp/support/meisen-school/>



(TOTOTO(株)勤務)